

石高神社報

第二十八号

発行日 平成二十二年十二月一日
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆
発行所 岡山市中区円山八五三
電話 〇八六―二七七―九〇〇三

氏神様と氏子

神社には、その周りの地域の氏神として、氏子区域というものがあります。私達と祖先が氏神様に守られてきたのと同時に、氏子の皆さまの氏神への感謝と奉仕の心が神社を支えて来ました。当社の氏子区域は操山の北側と南側にあります。山の北側に氏子区域が多いのは、北側は古くから開けており、江戸時代のはじめまでは、神社が山の嶺上にあつたからです。

氏神は、もともと古代社会の血縁集団の祖先神をさしっており、氏神とは別に、生まれた土地を守護してくれる産土神（うぶすなのかみ）もありました。現在のようない地縁的な関係を指して、産土神と産子という呼び名もありますが、現在では、氏神と産土神の区別がつかなくなつて、氏神様が守ってくださる地域に住む人のことを氏子というようになりました。江戸時代末期に寄進された表参道の狛犬の台座には、産子と彫つてあります。

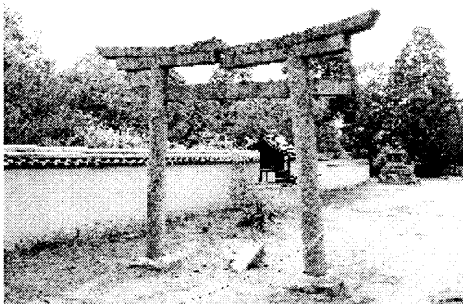
隨身門修復のご寄進状況

一昨年より隨身門修復費用の御寄進をお願いしています。その後も少しずつ個別に御寄進を賜わり、ありが

とうございます。しかし、まだ目標額の三分の二の六十三万円です。消費税が上がれば、それだけで数十万円余計に費用がかかることとなります。それまでで何とか工事にとりかかりたいと考えています。引き続き御寄進をお願いしていますのでどうかよろしく御申し上げます。

末社稻荷神社鳥居修理

数年前から鳥居の足が東へ少し傾きかけていましたが、七月中旬に社号が刻まれた額の部分が落ちてしまいました。笠木はバランスをとって足の上に乗っているだけですが、傾きが小さかったので落ちませんでした。輪くぐりの直前でしたので、緊急に修理しました。足が深く埋まっていなかったため、比較的簡単に修理できましたが、その代わりまた傾く恐れもあります。



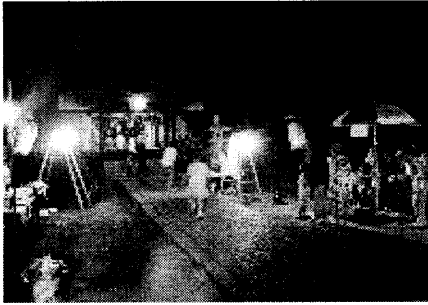
新しいトイレ設置

表参道横のトイレが、使えなくなったので、秋祭りに間に合うように新しい物に取り替えました。殴られたり蹴られたりしたことと老朽化が原因で、扉が開けられなくなりました。前のトイレは金属製でしたが、今度は、強化プラスチック製です。苦しい会計の中、やっと費用を捻出して設置しましたので、大事に使ってもらえることを願っています。



輪くぐりに総代会で出店

今年の輪くぐり祭は土曜日に当たり、岡山の花火大会と重なりました。このため夜店が来ないことが、あらかじめわかっていました。そこで、氏子総代会でかき氷・ヨーヨーつり・フランクフルト・ジュースの四つの店を出しました。入出が少なく寂しかったのですが、出店で、祭りらしい雰囲気を出すことができました。



また、輪くぐりのお参りのしかたや、ひとがたの扱いについての案内所を設けました。

Q&A ① お参りのしかた

質問 「正月やお祭りのときに、拝殿に上がって拝んでいただくにはどうしたらいいですか。」

回答

どなたでもお上がりください。住所、氏名、干支などを書いたお供えを用意して、その場にいる神職や総代に申し出てください。表書きは玉串料（たまぐしりよう）又は初穂料（はつほりよう）あるいは、何にでも通用する「御供」でけっこうです。お祓いを受けたのち、御神札や神様からのお下げ物をいただいて下さい。混雑している時は、一緒にご祈念させていただきますのでご了承下さい。

石高神社の御祭神と由緒

御祭神 大己貴命 須勢理姫命

配 祀 仲哀天皇 神功皇后 応仁天皇

出雲の神様と八幡宮の神様をお祀りしています。

当社の創立年月はよくわかりませんが、現存する神名帳で一番古い備前国総社神名帳の綿抜本または総社本（八六三年頃）に石高神社と載っており、備前の式内、

式外古社百二十八社の内の一社です。

社伝によりますと、昔には今の宮山から北手にあります高倉山（石鉄山）の頂上に大己貴命を祀る石高神社があり、今の嶽字岩坪に須勢理姫命を祀る八幡宮があります。この両社を天和三年（一六八三年）頃に現在の地に合祀し、岩坪八幡宮と称して尊敬されてきました。このため、江戸時代の書物には、八幡宮として載っています。

その後明治四年に旧号の石高神社にもどり、幡多郷の総鎮守産土神となりました。幡多郷というのは、一七二一年編纂の備陽記によりますと、清水・赤田・藤原・高屋・関・沢田・山崎・円山・湊の各村をさしています。古代から栄えていた操山山系の北側や新たに開発された南側の人々の生活や湊方面を航行する船の安全を護つて来ました。

石高神社のおもな行事のご案内

◎歳旦祭および初詣

一月一日午前零時より歳旦祭を行います。この直後の一時ごろまでと、三が日の午前九時ごろから夕方五時ごろまで新年の家内安全祈禱と厄払いを行います。

◎どんど焼きおよび古神札焼却祭

一月十四日以降で最初の土曜または日曜に、境内で行なっています。

平成二十三年は一月十五日（土）午前十時より行う予定です。

です。正月のお飾りのほか古神札焼却も行います。なお、ビニール、プラスティック、金属類はなるべくはずしてご持参ください。当日は、はずす作業をした後に焼却します。また、例年どおりぜんざいを用意する予定です。

※ 当日の作業やお接待に人手が足りません。お手伝いをお願いいたします。

◎厄払い

数え年でその年の厄年、祝年の方がお祓いを受ける慣わしです。当社では、二月一日が「厄払いの日」とされておりますが、一般には元日から節分のころまでにお参りするものとされています。平成二十三年のおもな厄年と祝年を一覧表にしましたので参考にしてください。

平成23年 厄年 祝年

女 19 歳	平成5年生
男 25 歳	昭和 62 年生
女 33 歳	昭和 54 年生
男 42 歳	昭和 45 年生
還暦祝	昭和 26 年生
古希祝	昭和 17 年生
喜寿祝	昭和 10 年生
傘寿祝	昭和7年生
米寿祝	大正 13 年生
卒寿祝	大正 11 年生
白寿祝	大正2年生

祝い年は男女ともに同じです。厄年には、前後に前厄と後厄があります。

◎輪くぐり（夏祭り）

七月三十一日晩は茅の輪をくぐる夏祭りの「輪くぐり」

があります。年の前半の罪・穢れを祓い、疫病から身を
守っていただくお祭りです。”ひとがた”に家族の生ま
れ年の干支、男女の別などを書いて身を払ってご持参く
ださい。”ひとがた”は当日にも準備しています。晚六
時ごろから九時前までにお参りください。

◎秋祭り

十月三日から五日の三日間で、このうち三日の晩が氏
子参りの日になっています。この日だけ夜店が出ます。
晚六時ごろから九時前までにお参りください。五日には
氏子総代が参列して祭典を行っています。

◎七五三詣で

氏神様にお参りし、ここまで成長したお礼を述べ、以
後の無病息災を祈願します。十一月十五日前後にお参り
します。

その他、初宮参り、当病平癒祈願、自動車清祓、家祈
禱、地鎮祭、各種清め祓い、神葬祭など随時受け賜って
おりますので、お電話でご相談ください。平素は宮司と
権禰宜の二名の神職でご奉仕しています。

石高神社のホームページ

宮司手作りのホームページがありますのでご覧ください。
行事の前後に更新しています。アドレスは
<http://www.31.ocn.ne.jp/~ishitaka>です。「石高神社」で
検索すると出てきます。

石高神社の場所と駐車場

南側には、石段を上がる
表参道があります。自動車
でお参りの場合は、宮山の
東側を山に沿って進むと北
側から山に上がる参道があ
ります。右に少し曲がりな
がら上がる本殿の裏に出
ますので、ここに駐車する
のが便利です。まっすぐ進
むと、表参道を上がった随
身門が見える所まで行きま
すが、行き止まりになりま
す。なお、宮山の東北の方
ープは見通しが悪いので、
お気をつけください。

後記

後半二ページは石高神社の簡単な紹介を毎号するよ
うにしていますので、今回も同じ内容になっています。
町内会長はじめ役員の方々には、社報配布などいろい
ろとお世話になり、ありがとうございます。来年が良い
年になりますようお祈り申し上げます。

